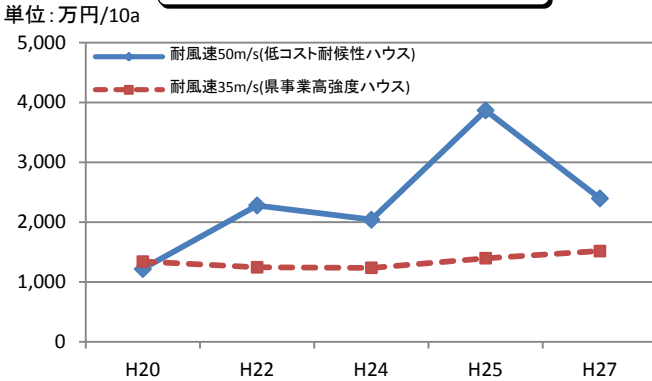


提言3 低コスト耐候性ハウスの要件緩和

ハウスの整備コストが大幅に上昇

低コスト耐候性ハウスの価格推移



耐風速35m/s、50m/sのハウスの価格¹⁾推移比較

単位: 万円

	耐風速50m/s (低コスト耐候性 ハウス) ^{*2}	耐風速35m/s (県事業高強度 ハウス) ^{*3}	差
H22	2,279	1,246	1,033
H24	2,041	1,238	803
H25	3,868	1,398	2,470
H27	2,396	1,517	879
平均	2,360	1,388	1,012

^{*1} ハウス価格には付帯設備を含む ^{*2} 高知県における国事業利用実績実 ^{*3} 高知県園芸用ハウス整備事業実績

農家の投資意欲が低下

低コスト耐候性ハウスの導入に慎重

施設園芸の団地化・大規模化を促すには、
より低コストで台風被害を受けないハウスの導入が必要

台風によるハウス被害の現状

○直近10年のうち、耐風速35m/s以上のハウスは、台風による被害をほとんど受けていない。

高知県農業共済組合連合会実績 0.6%

〔被害を受けたハウス 25 棟/4064 棟〕
〔被害を受けた面積 4 ha/540 ha〕

○2004年以降、最大瞬間風速35m/s以上の観測は、5カ所のべ30回で、うち20回は足摺岬、室戸岬の観測値。

○被害ハウスも、施設共済に加入していたことで、速やかな現状回復が行われている。

施設被害や最大瞬間風速の実測値から考えると、「耐風速50m/s未満の低コスト耐候性ハウス」も必要

例えば、耐風速35m以上の高強度ハウスは、

- 近年の台風能耐えられる強度を有する
- 低コスト耐候性ハウスに比べて低コスト
- 収益性、経済性の面から、利用できる品目の幅が広がる

ため、農家の設備投資意欲を高め、規模拡大の推進による企業的経営体の育成が可能となる。

提言内容

一定の強度を有したハウスの導入に対して支援を行い、設備投資意欲を高めるため、
低コスト耐候性ハウスの基準を耐風速 35 m / s 以上に緩和

することを提言します。